

セイヨウオオマルハナバチの 実用性確認試験

JAしずない

武藤 幸男



試験目的

セイヨウオオマルハナバチの実用性確認試験

試験作物 及び品種

ミニトマト

試験資材 及び数量(規格)

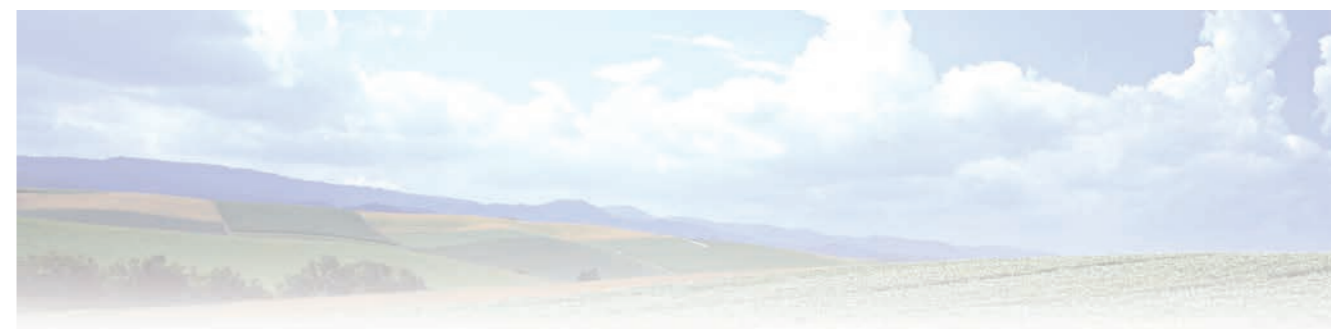
ハニートーン1群

慣行資材

キャッツ

資材使用期間

4月3日～5月上旬頃



試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品と比べても変わらず訪花しており、特に問題はなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と比べ、特に変化はなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：慣行品同様訪花していた。

モニター感想

慣行品と比較しても訪花活動は問題なかった。コストとしては安いので使用する価値はあると思う。しかし、使用終盤の働き蜂の減りが慣行品と比べ少し早かったような気がした。コストと作業面を考慮して、来年度の使用を考えたいと思う。

JA担当者の感想(資材課 原課長)

この商品は慣行品に比べマイナスの評価をされることはほぼなく、コスト面でも優位性があるので少しずつ普及している商品である。働き蜂の減りは個体差の問題もあると思われる。蜂を長く、効率的に使用できるように今後もホクレンとともに生産者への指導・情報提供を行いたいと考えている。

今後の使用について

継続して使用したい。

1 クリント

2 高温対策

3 害虫忌避効果

4 滑雪効果

5 生分解性マルチ

6 その他

7 酪農資材